

大和の子 ~積み重ね つみ重ねても またつみかさね~

令和7年7月7日 No. 8 文責：校長 河野 太郎

短なわレディーGO!



毎年、県の教育施策の一つとして縄跳びを実施し、子供たちの健康の増進と体力の向上を図る「短縄レディーゴー」の取組が行われます。本校でもこの6月から朝のスポーツタイムを活用して、その取組をスタートさせました。

内容は、決められた時間の中で「前跳び」を何回跳ぶことができるか記録をとるものです。スタートして途中で失敗しても、その続きからカウントします。この取組のよいところは、体力の向上もさることながら、跳びながら数えるのが難

しい低学年生を高学年生がペアになって見てあげることです。休みなどがなければ、毎回同じペアでお互いの跳ぶ様子を見るので、相手の子がどのくらい上手になったかもわかりやすいです。また、高学年生は低学年生の回数を計るだけでなく跳び方についてもアドバイスをしているところです。

「今日は、〇回跳べたよ。」「前よりも〇回多くなった。」など、回数が多くなるにつれ、子供たちも喜んでいきます。1年間を通しての取組です。少しでも縄跳びが上手になるといいと思います。

水のゆくえを調べて（4年生）



4年生社会科の学習には、「水」についての学習があります。私たちの生活に必要な水は、どこから来て、使った水はどこに行くのかについて学習を進めます。

先日はその学習の一環として、「駒場浄水場」と「釜無川浄化センター」を見学しました。まさに、私たちの飲み水になる前の水はどこから来るのか、そして使用した後の水はどこに流れていくのかを実際に見てみる活動です。

駒場浄水場での見学でまず驚いたのは、給水口から入ってきた水がたくさんの池を通っていくところです。ゆっくり流れていく水が少しずつきれいになっていくのがよくわかります。大きなファンのようなものが回転し、水の流れをつくっていることもわかりました。

最後に見せていただいた集中監視室では、水の流れや量などの現在の様子がすぐにわかります。また、取水口にも遠隔操作ができるカメラがセットされていて、異常がないか24時間体制で監視していることもわかりました。



この日はとても暑く、当初の予定では釜無川浄化センターの周りの芝生広場などでお弁当を食べる予定でしたが、熱中症予防も考慮し、浄化センターの中をお借りしてお弁当を食べました。おうちの人に作ってもらったお弁当をうれしそうに頬張る姿が印象的でした。

午後の見学は「浄化センター」の仕組みについてです。飲料としてだけでなく洗濯や入浴、洗顔などさまざまな形で使った後の水は、どのように処理されていくのかについて説明を聞きました。微生物によって汚れを分解していること、塩素など水をきれいにする薬品も投入し、最終的には飲める位のレベルに浄化させてから川に流していること、などを伺いました。

最後は、汚れた水が少しずつ池を流れていくその一部を見せてもらいました。浄水場と同じように、こちらも24時間体制で管理していることもわかり、自分たちの水を守ってくれている人がずっと頑張ってくれていることも知ることができました。

草刈りボランティア～ありがとうございました～



6月28日（土）6時30分より、保護者の皆様をはじめ、地域の方々、関係団体の皆様にお声かけをさせていただき、募集した草刈りボランティア。当日は、PTA役員さんを中心とした保護者の皆様、北地区支え合い協議体の皆様、昭和46年度卒業生の皆様、社会福祉協議会の皆様をはじめ、50名近い参加の下、主に大和川沿いの土手と学校地内の農園周りの除草作業をしていただきました。

特に、大和川沿いの土手は草が伸びやすく、これからの時期枝葉が通学路として利用している子供たちの邪魔になってしまいます。また、草が伸びているとヘビやスズメバチなどの巣がわかりにくいことも問題になります。

当日は、朝から初夏の日光が照りつけ、非常に暑い中でしたが、参加された保護者の皆様や地域の方々が、一生懸命作業してくださり、大和川の土手や歩道の植え込み、農園周辺の除草など、1時間ほどの作業で本当にさっぱりしました。おかげさまで、子供たちも安心して登下校することができます。本当にありがとうございました。



裁縫も手伝っていただいています



5年生の家庭科では、ちょうど裁縫にもチャレンジしています。始めて針と糸で手縫いをするには、簡単なことではありません。針に糸を通すだけでも結構時間がかかります。その負担を軽減していただいているのが、支え合い協議体の方々です。

先日も4名の方が来校してくださり、5年生の裁縫の様子を見て、実際にやって見せてくれたり、針の動かし方などについてアドバイスをしてくださったりしました。おかげさまで、子どもたちもすいすい縫えるようになってきました。これから、他の学年の授業などにもお手伝いに来ていただく予定です。地元の方々の協力に心から感謝申し上げます。